

## 1. 新型コロナウイルス感染疑い（および確定）患者が人工呼吸器を使用する場合

1-1. エアロゾル拡散を防ぐために、

「カフありカニューレ」「閉鎖型吸引カテーテル」を使用する。

1-2. 新型コロナウイルス感染疑いの患者は、人工呼吸器使用開始時に下記 1-3. の基準で人工呼吸器を使用する。

1-3. 840 ベンチレータ or 980 ベンチレータ使用時

テストラングは使用しない。（テストラングの代わりにキャップで代用する）

7kg 未満の患者については従来通りの回路構成（加温加湿器仕様）で使用する。

7kg～10kg までの患者はインターサージカル人工鼻「インターサームマイクロ」\*<sup>1</sup>を使用する。

10kg 以上の患者はインターサージカル人工鼻「インターサームミニ」\*<sup>1</sup>を使用する。

小児用および成人用回路の呼気フィルター、成人用回路はディスポーザブルのものを使用する。

\*<sup>1</sup> 人工鼻は ICU 倉庫にて保管する。

CE が ICU 倉庫に 980 ベンチレータ 1 台を小児用回路(人工鼻仕様)

840 ベンチレータ 1 台を成人用回路(人工鼻仕様)として準備する。

1-4. 急性期には基本的には深鎮静管理を基本とし、肺保護換気を行う。

1-5. 人工鼻は 48 時間毎に交換し、呼吸器回路は患者毎あるいは破損した場合のみ交換する。

なお、人工鼻交換は集中治療科医あるいは病棟看護師が行う。平日日勤については依頼があれば ICU 担当 CE が交換の介助をする。

1-6. 呼吸器回路の廃棄、および呼吸器清拭は患者病室内にて行う。

## 2. 在宅用人工呼吸器使用患者が新型コロナウイルス感染疑い(および確定)となった場合

- 2-1. 気管切開カニューレの入れ替えが容易な患者の場合は適切なサイズの「カフありカニューレ」に変更する。  
入れ替えの可否はICU 担当医の判断に一任する。  
「閉鎖型吸引カテーテル」を使用する。
- 2-2. 在宅用人工呼吸器から 840 ベンチレータ or980 ベンチレータへ呼吸器を変更する。  
(在宅人工呼吸器は、リークポートがあったり、呼気弁からのガスが大気に漏れるため)  
人工呼吸器は上記 1-3. と同様の基準で使用する。

## 人工鼻交換の方法（48 時間毎）

1. 人工鼻を患者側に残し、呼吸器回路を患者から取り外す。
2. 新しい人工鼻を呼吸器回路に接続する。
3. 古い人工鼻を患者から取り外し、新しい人工鼻を付けた呼吸器回路を接続する。

※ 人工鼻交換は、自発呼吸が完全に消失した状態で行うことを基本とする。

※ 人工鼻使用中の加温加湿器、ネブライザ併用は禁止です。

## ベンチレータ回路(加温加湿器仕様)内の結露水の除去方法

1. 吸気フィルターごと吸気回路を呼吸器本体から取り外す。
2. ウォータートラップに溜まった結露水をポリ袋に除去したあと、ウォータートラップを回路に戻す。
3. 吸気フィルターごと吸気回路を呼吸器本体に接続し、呼吸器での換気を再開する。

※ 結露除去は、自発呼吸が完全に消失した状態で行うことを基本とする。